

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ジュニアスペース・らいぶ草津アネックス		公表日 令和8年2月26日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・十分に思い切り身体を動かせるスペースがあり心地よい環境です。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・配置基準に配慮した人員体制をとっております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		理解が困難なお子さんに絵カードや写真を用いて伝えたり、個々の特性や性格に合った関わりをしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		日々清掃を実施しております。小体育館程の広さですので様々な運動活動を行えます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	広いスペースを活用して様々な場所を活用頂きます。	部屋数が多くはなく、広いフロアと学習室は基本的には自由に使用できますが個別のお部屋のご用意は難しい場合があります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		日々のミーティングの中で話し合っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員間で評価表の内容を共有し、改善案について話し合っております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		一人ひとりが意見を伝えやすい環境です。連携もしっかりとっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	外部評価は行っていませんが研修などの機会に助言を頂くことなどはあります。	今後第三者による外部評価を行うか検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		LINEなどで公表しています。月々、様々な運動面、知育面でのプログラムを元に利用者さん皆楽しく取り組まれています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		保護者様からの聞き取りや利用者様とお話しの中で伺ったニーズや課題を職員間で集約しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		支援会議には各職員が参加し、検討を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画や面談の内容は周知し、支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		全利用者様に共通のアセスメントを用いております。また日々のお過ごし様子を記録したインフォーマルなものも使用しております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		各支援項目を記載し、支援内容を設定しています。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	担当者を中心に皆で話し合っています。	立案は常勤職員で行っておりますが非常勤職員につきましても細部を検討の際にご協力いただいています。立案にも参加頂くか相談して参ります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		子どもたちに興味をもってもらえる様に様々なプログラムを提供しています。幅の広いプログラムを考えております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		知育、運動療育のどちらも個別、集団活動で取り組んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援前に当日の支援内容の確認伝達をしています。出勤後すぐ内容や流れを伝えて頂いています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	気付いたことなどは職員間で共有していません。勤務時間の都合上支援終了後は難しいため、翌朝行っています。	翌日になると当日出勤した職員が全員いるとは限らないのが課題です。当日出来る共有方法を検討していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の支援記録を活用して検証・改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的に行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		4つの基本活動を意識した支援内容になっている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		利用者の方に無理強いせず、「見守りつつ”やってみよう”を引き出せるように関わっております。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者等が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		利用者様の支援について相談事項を適宜、支援センターや学校、他事業所に行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		適宜行っております。	学校によっては下校時刻等の情報を共有頂けず、保護者様とのやり取りで下校時刻の把握を促すところもあります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	おおよそ小学4年生からの利用になるので行っていません。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	卒業までに日々のお過ごしの様子を保護者様には書面でお配りしています。	今後、移行する事業所に情報提供をするよう努力します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		支援センターとは日々連絡を取り合って助言や研修等頂いています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	外出支援などを行う際は他のお子様方と一緒に活動する機会もございます。	今後ご要望があれば実施を検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	出席可能な場合は参加しています。協議会の資料をホームページ上で見れますので適宜確認しています。	就業時間と合わないため参加が難しい場合があります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・連携をしっかりと取り合っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	日々のご相談に応じて対応しています。	研修や具体的な情報提供は行っておりませんので今後検討します。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		運営規定や重要事項説明書などを用いて説明しております。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		支援計画の見直し時に事前のヒアリングシートを利用者様にお配りして意向を伺っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		計画を基にお話して書面での同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		面談や送迎、その他LINEなども活用して助言や支援等行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4		現在、該当するような活動は行っておりません。今後検討します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		出来る限り迅速な対応を行っています。適切な対応も心がけており、関係機関との連携・相談も必要に応じて行っております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		LINEを活用して日々の活動をお伝えしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		十分留意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		個々に会った対応を意識しています。発語の難しい利用者様の意思表出は保護者様に日々伝えています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		今年度、該当するような活動は行っておりません。今後検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルを作成して整備しております。	保護者様向けアンケートでは「わからない」と答える方もいらっしゃいますので周知の方法を検討します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		法令に基づき必要な訓練を実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		利用開始時とその他適宜保護者様からの申し出により伺っております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	アレルギーについて保護者様から情報を伺っております。	医師の指示書を頂くケースは現在ございません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		法令に基づき必要な研修、訓練を実施しております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画について周知を実施しております。	保護者様向けアンケートでは「わからない」と答える方もいらっしゃいますので周知の方法を検討します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットに該当することが起きた場合は再発防止を検討し、記録しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		法令に基づき必要な研修を実施しております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		身体拘束を行う要件についても各職員に周知しています。現在、身体拘束について計画に記載している方はいません。	